



2011/5/23

事務局

岡谷市長地片間町 2-5-5

TEL, FAX 0266-28-9230

ニュースNo.46

大災害と大事故——質は違いますが、原爆一敗戦と同様な大試練に、国を挙げてともに立ち向かおうというときに、日本列島の深部に潜む改憲派は性懲りもなく、もぞもぞと動き始めています。彼らは今回を絶好の機会ととらえ、大規模災害時に政府の権限を拡大し、国民の権利を制限する非常事態条項を盛りこみ、改憲を計ろうという動きがあります。これは憲法22条や29条など現行憲法で十分対処できることなのですが、彼らは場合に依じて、あれこれと現行憲法は不備だと言い立てて9条改憲にもちこもうというのです。

現在の非常事態に対しては、25条や13条などを含め、なによりも憲法の理念が復興の土台になるというのが世論の大勢となっています。敗戦の、すべてを失った絶望的な状況の中で、人間の尊厳を守る理念「生存権」が生まれ、それが打ちひしがれた国民に、どれほど希望と勇気を与えたことでしょうか。いまこそ憲法をいかして再建を図るべきときなのです。

活動・行事の報告

5月3日(憲法記念日)伊波洋一講演会

沖縄の基地は、日米安保条約によってではなく、銃剣と海兵隊による沖縄占領状態のままに引き続いている。だから航空法も適用されない危険な基地が街の中にあることなど、米軍基地の撤去を求める根拠や、海兵隊は決して抑止力にはなっていないことなど、20ページもの資料によって話された。

5月8日 姜尚中 講演会

「在日二世」として差別や偏見による苦しみを味わった一人である。この苦難を糧として、過去の歴史的経過をのりこえて、「北東アジアの融合」を力説された。この平和指向の強い姿勢は、単に民族間の感情に左右されている日本人にとって、博愛の理想——真の国際協調を目指さなければならないことを教えられた思いである。未来の世界の平和を真剣に考える知識人の姿に、あらためて「憲法九条」の重要性を噛みしめることができた。

(姜尚中氏の講演を聴いて 中澤康人)

今後の予定

6月4日(土) 第7回総会 イルフプラザカルチャーセンター

まだまだ続く長い道のり、7年目の出発をします。会員でない方にも声をかけて、一人でも多くの方に参加していただき、総会を盛り上げましょう。

** 13:30~15:00 記念講演 岩垂弘さん(元朝日新聞編集委員) **

「福島原発事故をどう考えるか~いよいよ光輝く憲法九条~」

福島原発事故から間もなく三ヶ月。いまだに事故は収束せず、そればかりか、さらに被害が拡大する様相を見せています。この事故が明らかにしたもの分析し、併せて平和問題、憲法問題の観点から、この事故を考察し、これからの日本のありかたを考えます。

** 15:30~16:00 総会 この一年のあゆみ、会計報告、
今後の活動の進めかた、質疑・討議、総会宣言 **

7月27日(水)~29日(金) 国連軍縮会議 in 松本

様々な協賛の催しが行われます。岡谷九条の会としては、「平和を考える市民の広場」の協賛団体となり協力することになりました。事務局としては、27日のピースパレード参加を重点とする方向で考えています。(18:30~松本駅前記念公園→松本城公園 20:00 約1km) 詳細は次号ニュース

8月6日(原爆記念日) 核兵器廃絶岡谷平和の集い

7:50~小井川小学校西口広場 世界平和祈念岡谷市民太鼓 歌声広場

8月15日(終戦記念日) 街頭署名岡谷駅前 14:00~2時間程度 署名とビラ配り

9月9日(金) 9999協賛「九条に乾杯」イベント パークホテル

◎ 茅野市9条の会 7月9日(土) 総会 記念講演は、安齋育郎氏の「原発事故と憲法九条を生かす」 茅野市民館2F 午後2時~ 参加費500円

◎ 原発事故の3ヶ月目にあたる6月11日、国外、国内各地で「6/11 脱原発100万人アクション」が計画されています、諏訪地区は「環境会議・諏訪」が中心となり、下諏訪文化センターで「緊急学習集会」が開かれます。

13:30~16:30 入場無料 多数参加して下さい

会費納入のお願い

この会の会計年度は、総会(6月)から総会までとなっています。振替用紙を同封しましたので、よろしくお願ひします。総会の折に持参していただくのがベストです。代表者に手渡ししていただいても結構です。振替用紙の場合、通信欄にメッセージを一言ぜひお願ひします。